

令和8年度予算案のEBPM「地域こども政策推進事業費」

課題データ

こども・子育て支援については、地方自治体間の財政力の相違により、支援の内容や規模に大きな差が生じており、単に居住地等が要因となり、合理的な理由なく、子育て家庭や児童福祉関係の従事者等が受けられる支援の差異が大きくなっている。（令和5年度における人口1人あたりの地方税全体での税収額は、最大/最小では2.3倍の格差）
こうした課題への対応では、道府県の広域調整機能を活用して、地域における施策の優先順位を検討させた上で、一定の平準化を図ることが効率的・効果的であるため、道府県が行う域内の財政力が低い市町村のこども・子育て施策を計画的・継続的に補助する取組を支援する。

事業

地域こども政策推進事業費

令和8年度予算案：10億円

道府県で、①道府県におけるこども・子育て施策の優先課題、②当該課題に係る近隣道府県との財政力の違いを主とする取組の違い、③差異の解消・緩和のための域内市町村支援に係る複数年の取組案等を内容とする「地域こども政策推進計画」を策定。
こども家庭庁において、必要性・実効性等の観点から審査を行い、適当と認められた道府県に対して、中長期的に計画的・継続的に取り組むことを前提として、補助金で支援を行い、道府県は域内市町村を支援する事業を実施する。
事業実施後、補助を受けた道府県は、成果報告書を取りまとめ、広く周知するとともに、こども家庭庁に報告する。こども家庭庁は、実施団体から随時報告を受けた上で、提出のあった成果物から好事例を精査し、更に横展開を図る。

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

「地域こども政策推進計画」を策定した道府県数
2026年度 5道府県程度

短期 アウトカム

優先課題を特定してKPIを設定し、地方自治体間の財政力の相違による子育て施策の差異の解消・緩和に向けて取り組む市町村数

中期 アウトカム

特定された優先課題に係る定量的なKPIの達成

長期 アウトカム

「保護者の子育てが地域で支えられている」と思う人の割合が施策実施前と比較して10%以上改善

EBPM指標

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み